

日経平均株価等の構成銘柄の取り扱いについて

日本経済新聞社は日経平均株価等の構成銘柄の上場廃止や株式分割について、以下のとおり取り扱うこととします。

1. 日本製紙グループ本社の上場廃止に伴う銘柄入れ替え (日経平均株価、日経株価指数300)

日経平均株価及び日経株価指数300(日経300)の構成銘柄である、「日本製紙グループ本社(3893)」が、同社の完全子会社である「日本製紙」を存続会社として合併することに伴い、3月27日に上場廃止となります。

両指数とも、3月27日算出から「日本製紙グループ本社」を一旦除外し、「日本製紙(3863)」を上場翌日の4月2日算出から採用することとします。

なお、日経平均算出上の「日本製紙」のみなし額面は、現在の日本製紙グループ本社と同様の500円とします。また3月27日から4月1日までの間、日経平均は224銘柄、日経300は299銘柄で算出します。

2. KDDIの株式分割に伴うみなし額面変更 (日経平均株価)

日経平均の構成銘柄である「KDDI(9433)」が予定する株式分割(1株を2株)には、指数算出上、みなし額面の変更で対応します。

当該株式分割の権利落ち日である3月27日以降、KDDIのみなし額面を現在の50円から、分割比率に合わせて(その2分の1となる)25円に変更します。指数算出に用いる株価の水準が株式分割の前後で変わらないように、当該銘柄のみなし額面変更で調整するものです。

以上